

特集： <sup>J</sup>実際に <sup>S</sup>子午線 <sup>T</sup>をつい <sup>M</sup>にまたいでみよう！



# J S 実際に子午線を ついにまたいでみよう! T M

明石市立天文科学館で  
購入できるJ.S.T.M. 関連グッズ!



他にもプラネタリウムや  
シゴセンジャー・ブラック星博士のグッズも販売中!!

明石市立天文科学館で  
押せるJ.S.T.M. スタンプを紹介!



※この2つのスタンプは11月1日より設置いたします。

明石市立天文科学館は日本の時刻の基準である東経135度子午線上に建っています。  
J. S. T. M. とは「Japan Standard Time Meridian」の略で、日本標準時子午線を意味します。



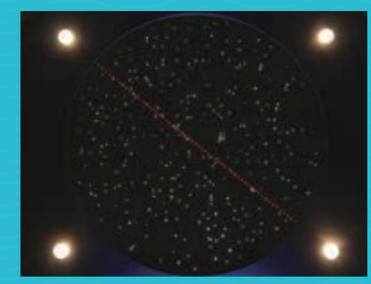
1枚135円  
限定5,000枚

J.S.T.M.証明書は  
00001~05000までの  
シリアルナンバー入り。  
1階ミュージアムショップで  
好評発売中です!



## 明石市立天文科学館で子午線の目印を探してみよう!

### 館内



★14階 展望室  
子(北)と午(南)の方角にそれぞれ赤いラインが引かれています。



★エレベーター内  
天井に電球で星空を模したデザインがあり、ここに赤い電球のラインで子午線の位置が表示されています。



★1階 漏刻  
子午線の位置に白色のラインが引かれています。



★3階 展示室  
床や天井に虹色に輝くラインが引かれています。



他にも様々な目印がありますので、チェックしてみてくださいね。

### 館外



★トンボの標識  
石畳にラインが引かれています。

# 135度子午線のまちと標識

東経135度子午線が通っているのは、明石市だけではありません。現在、北は京都府京丹後市から、南は和歌山県和歌山市までの12市を通過しています。それぞれの市に想いのこもった子午線標識があります。

6ページで紹介する子午線標識五十三次を描かれた伊藤太一さんのオススメポイントもあわせて紹介します。子午線標識をまわってみましょう。



**オススメポイント**  
明石からここまでたどり着いた時は、「遠くまではるばる来たなあ」という実感が湧きました。

## 2豊岡市

- ・子午線塔  
豊岡市但東町中山（県道2号宮津八鹿東側）
- ・モニュメント「太陽の道」  
豊岡市但東町中山（県道2号宮津八鹿西側）
- ・「子午線クロスラインごうら」標識  
豊岡市但東町（林道郷路線西側入り口より2.2km地点南側）
- ・「子午線通過地点」標識  
豊岡市但東町栗尾



## 4丹波市

- ・東経135度日本標準時モニュメント  
丹波市青垣町山垣字滝谷（青垣ふれあいの里内）
- ・E135子午線通過点標識  
丹波市青垣町佐治（国道427号と県道7号の交差点…小倉交差点）
- ・子午線ポイント  
丹波市青垣町西芦田（丹波少年自然の家から登山道「子午線コース」の途中）
- ・子午線タイル  
神楽橋歩道（小倉交差点を300m程度南下 国道427号線上の橋）
- ・子午線の通る町氷上町標柱  
丹波市氷上町大谷（県道78号北側 達身寺への町道との分岐点）
- ・東経百三十五度日本標準時子午線の通るまち  
丹波市氷上町大谷（達身寺への町道の南）
- ・東経百三十五度日本標準時間 子午線の通るまち  
丹波市氷上町朝坂（国道175号西側）
- ・東経百三十五度子午線標示柱  
丹波市氷上町朝坂（国道175号東側）
- ・日本標準時子午線通過地点 標識と時計  
丹波市山南町和田（県道86号南側）



**オススメポイント**  
氷上町では春先に「かたくり」の花が咲きます。達身寺というお寺のすぐ近くにあり印象深いです。

## 10明石市

- ・トンボの標識前の路上の子午線  
明石市人丸町（都心回遊路「時の道」）
- ・トンボの標識  
明石市人丸町 天文科学館北側
- ・明石市立天文科学館  
明石市人丸町（天文科学館）
- ・漏刻と路上の子午線  
明石市人丸町（天文科学館敷地内）
- ・人丸前駅の子午線  
明石市天文町1丁目
- ・国道2号の標識  
明石市天文町1丁目（国道2号北側歩道上）
- ・サインボード  
明石市天文町1丁目（明石子午線郵便局南）
- ・明石区検察庁子午線標識  
明石市天文町2丁目
- ・子午泉  
明石市大蔵天神町（人丸花壇）
- ・大日本中央標準時子午線通過地標識  
明石市天文町2丁目（大蔵交番前）
- ・モニュメント「刻」  
明石市中崎1丁目（中崎公園入口）
- ・トンボの標識レプリカ  
明石市中崎1丁目（中崎公園内）
- ・大蔵海岸ランニングコース子午線標示  
明石市中崎1丁目

**オススメポイント**  
友ヶ島へは小さいけどモダンな洒落た船で渡りました。風景がとてもキレイです。

## 12和歌山市（友ヶ島）

- ・「日本標準時子午線 日本最南端の地」標識  
和歌山県友ヶ島灯台の南西



子午線標識にも色々な形があるのね



これが日本最南端の標識かあ

## 1京丹後市

- ・日本中央標準時子午線最北端の塔  
京丹後市網野町浅茂川（県道665号北側）
- ・日本中央標準時子午線塔  
京丹後市網野町（国道178号沿）
- ・子午線東経135度線  
京丹後市久美浜町佐野（国道312号比治山峠比治山トンネル内）

ここは日本最北端の標識ね!!



## 3福知山市

- ・「子午線標柱の軌跡」標示板  
福知山市夜久野町額田（下夜久野駅前バス停横）



## 5西脇市

- ・子午線モニュメント  
西脇市黒田庄町田高（国道175号南東側）
- ・東経百三十五度北緯三十五度交叉点海拔六十三米標識  
西脇市上比延町
- ・日本のへそモニュメント  
西脇市上比延町（日本へそ公園内）



**オススメポイント**  
日本へそ公園は広くて、ゆっくり散歩するのに最適です。

## 6加東市

- ・日本中央標準時子午線標示柱  
加東市上三草（国道372号北西側）



## 7小野市

- ・「東経百三十五度日本中央標準時子午線」標柱  
小野市万勝寺町 萬勝寺前
- ・「小野子午線公園」時計モニュメント  
小野市万勝寺町 萬勝寺前



## 9神戸市

- ・日本標準時子午線標示柱  
神戸市西区神出町東（市立神出中学校東門前）
- ・大日本中央標準時子午線通過地標識  
神戸市西区平野町黒田（県道83号平野三木線南東側）
- ・日本標準時子午線と時計  
神戸市西区春日台9丁目（春日台公園内）
- ・東経百三十五度（日本標準時子午線）  
神戸市西区春日台4丁目（市立春日台小学校内）



**オススメポイント**  
明石市の大蔵交番前の子午線標識と双子の標識だと聞いて驚きました。明治43年に2つとも建設されたそうです。

## 11淡路市

- ・「子午線の通るまち 淡路市」  
淡路市岩屋（岩屋港・岩屋バス停前）
- ・神戸淡路鳴門自動車道のモニュメント  
淡路市（神戸淡路鳴門自動車道沿い）
- ・「子午線最南端の町 ひがしうら」モニュメント  
淡路市浜（大磯港高速バスターミナル前）
- ・「子午線通過点日本最南端の地」時計  
淡路市浜（AIE国際高等学校校内）



伊藤さんオススメポイント

鷺のデザインがカッコイイ!



## 8三木市

- ・「大日本中央標準時子午線」石柱  
三木市久留美（県道20号古古川三田線北西側）
- ・電子基準点  
三木市岩宮（三木幼稚園内）
- ・東経百三十五度日本標準時子午線  
三木市大塚（市立三木小学校内）
- ・「大日本中央標準時子午線」石柱  
三木市大塚（県道38号三木三田線北側）
- ・東経135度日本標準時子午線標示塔  
三木市福井（県道22号三木神戸線北東側）



※このページに掲載の子午線標識は、各市町村から回答いただいたものです。子午線標識は、この他にも個人的に設置されたものもあります。

# 子午線標識五十三次

近くみると  
大迫力!!



2011年10月15日～12月4日に開催した特別展「伊藤太一 子午線の風景を訪ねて」で展示していた、伊藤太一さんの描き下ろしです。大きさは長さ9m×幅50cmの超大作です。東経135度子午線上に建てられたすべての子午線標識が精密かつやさしいタッチで描かれ、周辺の観光情報もたっぷり描きこまれています。現在、3階展示室「子午線のまち・明石」のコーナーで、データ化した作品と実際の作品の一部をご覧いただけます。

ここから  
START! →

まきたつとよ →



さあ種まきだぞ

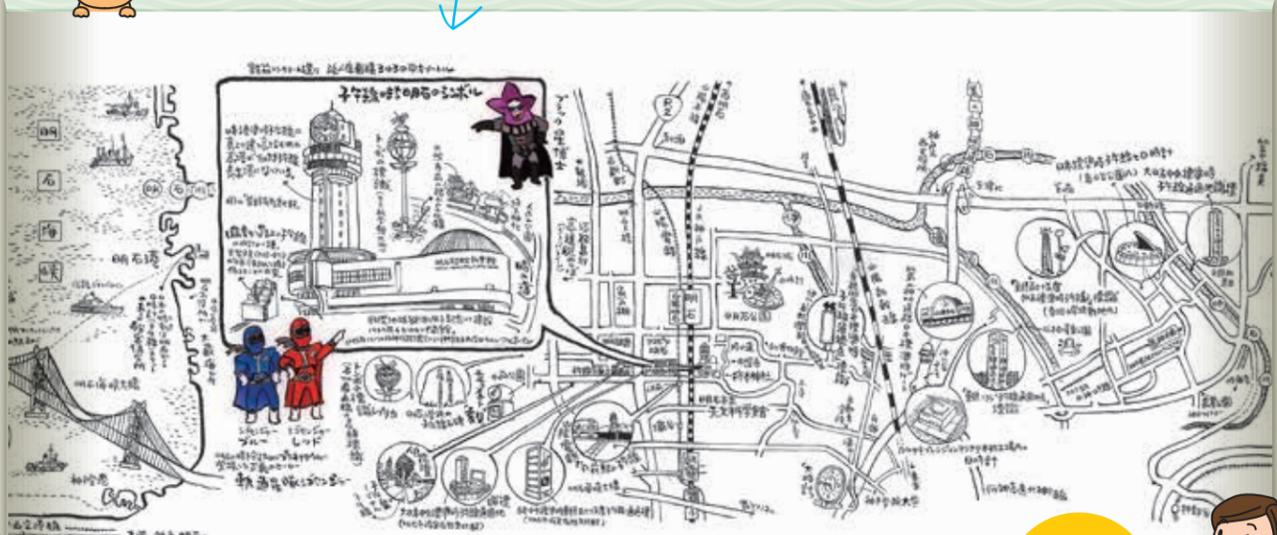
やっと半分!



明石周辺を拡大!

ゴールはもうすぐ →

全長9m → FINISH!!



すごく詳しく  
描かれてるから  
わかり易い



## 伊藤太一さんに インタビュー

特別企画

Q 明石市内で好きな場所はどこですか

**伊藤さん** 明石市立天文科学館の北側のくねくねした坂道が好きです。独特の形をした天文科学館の建物の後ろ姿が、青い空や明石海峡大橋と一緒に見える風景は明石らしくて、非常に詩情的ですね。特に明石は都会のようなせわしない感じがなく、どこかホッと一息つける場所だと感じています。

Q 「子午線標識五十三次」を描くにあたって

**伊藤さん** 全ての子午線標識を見てきましたが、神戸市西区春日台公園の「日本標準時子午線と日時計」は探すのに苦労しました。住宅街の中で風景に溶け込んでいたのだからなかなか見つからなかつ

伊藤太一さんに作品を描かれた当時のお話をお伺いしました。

たです。

また、作品を描くにあたって南北に通る東経135度子午線を横向きにして、繋げて描くのは大変でした。こうして作品を見返すと子午線標識やその周辺を旅した当時のことが凝縮されていて、たくさんの思い出が溢れてきますね。

Q これから子午線標識を見に行こうと思う人へのアドバイス

**伊藤さん** 同じ場所の標識でも季節によって日の当たり方や周りの風景などが変わるので全く違って見えておもしろいです。また、行った先で美味しいものを探そうとか、子午線標識だけでなく別の目標を持つとより一層楽しく旅ができますよ。



あかしし には、「日本標準時子午線」が通っている。天文科学館は、その子午線の上に建てられているぞ。でも、「子午線」っていったいなんだろう?

Q 子午線の「子」と「午」はなに?

A. 昔は、時刻や方位を「ね・うし・とら・う……」という十二支を使って表していたんだ。北の方位を「子」、南の方位を「午」と呼んだぞ。子午線というのは、北と南を結ぶ南北線のことなんだ。



Q どうして標準時子午線がいるの?

A. 太陽は、東から昇り西へ沈む。太陽が真南に来た時を南中といい、昔から太陽が南中すると、正午(お昼の12時)としているんだ。ところが、太陽が南中する時刻は、東と西で違って来る。たとえば東京は、明石より20分早く、長崎は20分遅く太陽が南中するぞ。もし、それ



明石を通る東経135度子午線上の時刻が「日本標準時」と定められたのは、今から130年前なんだ。

それぞれの子午線上の時刻を使っていると、日本国内でも1時間20分以上の時刻の違いができてしまうんだ。交通や通信が発達してくると、それでは困ってしまうので、日本の基準の時刻となる子午線を決める必要ができたんだ。

子午線の上で  
しごとせんか〜!



# 子午線ってなに? なに? なに?

1回見ても、2回見ても、  
3回見てもアキない、  
秋の散開星団たち。

秋の澄んだ空の下で双眼鏡や低い倍率の望遠鏡で星空散策しましょう。カシオペア座～ペルセウス座の付近は散開星団が多く、双眼鏡や低倍率の望遠鏡で眺めると見ごたえがあります。天の川から少し外れると、アンドロメダ銀河M31やさんかく座の銀河M33が浮かびます。

- ★二重星団 (NGC869 NGC884、ペルセウス座 散開星団)  
2つの散開星団が並んでいるのでこの名前があります。天の川の絶景の一つ。
- ★M34 (ペルセウス座 散開星団)  
80個ほどの星団です。
- ★NGC1528 (ペルセウス座 散開星団)  
星の列が渦巻くような星団です。
- ★ペルセウス座のα星の付近  
星が多くて双眼鏡で観察できます。Mel 20 (メロツテ20) というカタログ番号があります。ここからすばるにつながる星の並びは、ペルセウスの脚です。すらりとした脚線美を楽しみましょう。
- ★すばる (M45) プレアデス星団  
肉眼で6～7個の星が観察できます。双眼鏡で星空を巡っていると視野にこの星団が飛び込んでくると息をのみます。最高に美しい星団です。
- ★M31 (アンドロメダ座 銀河)  
230万光年の距離にある銀河です。肉眼でもぼんやり見えます。アンドロメダ姫のアクセサリーのようなのです。
- ★M33 (さんかく座 銀河)  
250万光年の距離にある銀河です。観察には暗い空が必要です。



写真：堀井武史

「星空のレシピ」に広告を掲載希望の業者の方は、明石市立天文科学館までご連絡ください。※内容によっては、掲載できない場合もあります。

広い視野で使いやすい  
6倍、8倍の入門機

シリーズ **YFseries**

防水

**YF30-6 (6×30)**  
希望小売価格(税別) ¥11,000

**YF30-8 (8×30)**  
希望小売価格(税別) ¥12,000

星が見えにくい都市近郊でも  
双眼鏡を使うことで  
肉眼では見えなかった  
多くの星たちが見えてきます

優れた光学性能を  
高いコストパフォーマンスで実現

シリーズ **SVseries**

防水

**SV32-8**  
希望小売価格(税別) ¥22,000

**感動・視体験  
コーワ双眼鏡**

Kowa Binoculars

コーワは60年以上にわたり光学機器を製造する双眼鏡のトップブランド企業です

大阪営業  
http://www.kowa-prominar.ne.jp  
〒541-8511 大阪府大阪市中央区淡路町2丁目3番5号 TEL:06-6204-6912

興和光学株式会社

特別展関連企画・特別講座  
7月16日(土)・23日(土)・9月4日(日)



大野裕明氏

特別展「宇宙のタイムカプセル 隕石展」の関連企画として、特別講座を3回行いました。初回は(福島県)田村市星の村天文台の大野裕明氏に、隕星剣を作るにあたっての秘話など「隕星剣のひみつ」を紹介いただきました。2回目は日本流星研究会の豆田勝彦氏に「流星の観測」として、肉眼での流星観測の経験談などを紹介いただきました。また、最終回ではココニカミノルタサイエンスドームの森融氏に、長年の調査結果から「八王子隕石のひみつ」を紹介いただきました。いずれも参加された方は、詳しい話を熱心に聞かれていました。講演だけでは時間が足らず、展示室でのギャラリートークも楽しんでいただきました。

シゴセンジャーファンクラブ  
イベント 8月21日(日)

軌道星隊シゴセンジャーのファンクラブイベントを開催しました。イベントのための特別投影の他、豪華景品が当たる！シゴセンジャーの顔出し看板を使つての玉入れ大会や、シゴセンジャーによる観望会で大いに盛り上がりました。



夏休み工作教室

今年の夏もたくさんの方の工作教室を実施しました。日本標準時制定130周年を記念した時計工作では、「牛乳パックde日時計」とペットボトルで作る水時計(漏刻)の工作を行いました。大人気の「星のレジ工作」や、土日等に実施した科楽工作「惑星マグネット工作」では、素

敵な作品が揃いました。JAXAコズミックカレッジでは、傘袋ロケットを飛ばしたり、簡易真空実験装置で宇宙の環境を学んだりしました。



planetarian twilight theater  
8月31日(水)

明石市立天文科学館のプラネタリウム投影機が登場するアニメ映画「planetarian～星の人～」の公開に合わせてコラボイベントを開催しました。声優のすずきけいこさんによる日の入りシーン生解説や参加者投票で決まった劇中名ゼリフの読み上げのほか、ネット配信版の上映などを行いました。当日は海外を含む各地から多くのファンの方にお越しいただきました。



プラネタリウムコンサート「月見の夕べ」  
9月10日(土)

プラネタリウムの星空と生の演奏を楽しんでいただくコンサート「月見の夕べ」を開催しました。今回は、ギタリスト・川島隆臣さんとボーカル・HIROMIさんの素敵な演奏を楽しんでいただきました。コンサート終了後には、雲越しに月を観望することができました。



学校・園と力を合わせてこんなことをしています！

天文科学館では、子どもたちの「夢」と「学び」を育むために学校・園と連携した事業や研修会を実施しています。その取り組みをご紹介します。

初任者研修(社会体験研修)

7月29日(金)、8月1日(月)の二日間に、「初任者研修(社会体験研修)」を行いました。朝霧小、人丸小、中崎小、野々池中、望海中、魚住中、二見中の計10名の市内7小中学校の先生方が研修を行いました。

活動1

学芸業務  
(望遠鏡作成と操作方法の指導、館内展示物の活用についての研修)



天体観測で使用する望遠鏡を作成しました。作成過程で、「どうして対象物を大きく見ることができるのか」といった、望遠鏡の構造について知りました。また、作成した望遠鏡を用いて操作方法を学び、実際に観察を行いました。その他、日時計の仕組みを自分で体験するなど、実際に操作・体験しながら館内の展示物の活用方法について詳しく学びました。

活動2

日時計工作の運営・作業補助



明石市生涯学習センターにて行われた小学生対象の講座「牛乳パックde日時計工作」に運営補助として参加しました。講座を行うにあたって留意すべき点(安全面、適切な言葉かけ、分かりやすい説明)を意識しながら、運営及び子どもたちへの手助けを行いました。

活動3

教員のための博物館の日  
2016 in 明石市立天文科学館



2日目は、当館主催事業の運営スタッフとして活動しました。各分科会では、講座の進行補助や安全面の確保に努め、参加者の活動を充実したものにできました。講座を行う側となり、求められること・気を付けなければならないことを意識して運営にあたりました。様々な視点から物事を捉える・考えるきっかけとなりました。

学校の子どもたちが夏休みの間に、先生方はたくさんの方の研修を受講されています。教師としての力量を向上させ、子どもたちのために頑張っています。今回、研修を受けた先生方も、今後、子どもたちのために力を発揮してくださると思います。今後も学校・園との結びつきを持てるような取組をしていきます。

## プラネタリウム一般投影

解説員が、その日の夜に見える星空と、期間ごとのテーマにそったおはなしをわかりやすく紹介します。

### ★暗黒物質の謎をさぐる

11月1日(火)～11月30日(水)

現在の宇宙の姿の決定には、暗黒物質が大きな役割を果たしていると考えられています。暗黒物質は、質量があり周囲に重力をおよぼしますが、光や電波などの電磁波では観測できません。未知の素粒子やブラックホール等が候補に挙げられていますが、未だ正体はわかっていません。この期間は、宇宙の謎・暗黒物質についてお話しします。



### ★オリオン座のひみつ

12月1日(木)～12月25日(日)

明るい星が多い冬の星座の中でも、2つの1等星があり、整った星の並びが目をつくるのがオリオン座です。古くから、いろいろなものに見立てられたり、神話や伝説も多く残されたりしています。また、オリオン座には星が誕生する場所や、最期を迎えようとしている星があり、星の一生のさまざまな様子を観測することができます。この期間は、オリオン座についてお話しします。



## ★キッズプラネタリウム

幼児や小学校低学年を対象とした子どもむけプラネタリウムです。毎週土曜・日曜・祝日の第2回目11時10分～の投影に実施します。

### ★おたんじょうびのせいざ

11月12日(土)～11月27日(日)

秋の星空をいろいろ星座の物語やお誕生日の星座をお話しします。  
※11月23日(水・祝)は「熟睡プラ寝たリウム」のためキッズプラネタリウムはありません。



### ★クリスマスアワー

12月3日(土)～12月25日(日)

クリスマスにはどんな星や星座がみえるかな? サンタさんがお話ししてくれます。



## こども天文教室

第3または第4土曜日の9時50分～のプラネタリウム投影はこども天文教室です。最近の天文の話題やいろいろなテーマについて、天文科学館の学芸員が、小学4年生以上を対象に、わかりやすく解説します。天文について深く楽しく勉強しましょう。

### 11月19日(土) 天文学の最前線

現代の天文学の最新的话题を紹介します。

### 12月17日(土) 冬の星座と天体観測

冬の星座の探し方やこの時期見頃の天体の観測方法を紹介します。



## 特別展

### ★星空ウォーク

～遠くをのぞくと音がわかる!～

10月22日(土)～11月27日(日)

3次元に配置したカシオペア座のなかを散歩しながら、星空の奥行きや宇宙空間の広がりを感じましょう。



### ★2017年全国カレンダー展

12月3日(土)～1月9日(月・祝)

企業や公共機関が発行する新年カレンダーや、各国大使館等から提供される世界のカレンダーを展示します。



## 星と音楽のプラネタリウム

素敵な生の音楽と満天の星をお楽しみいただくプラネタリウム特別投影です。

11月26日(土)

14時30分～15時20分

[当日整理券制]

出演：ウミネコ楽団



ウミネコ楽団

12月24日(土)

14時30分～15時20分

[当日整理券制]

出演：Dreamaway

## ★ベビープラネタリウム

※投影時間約30分

乳幼児(0～4歳くらいまで)のお子さんと保護者の方が対象のプラネタリウムです。親子で一緒にプラネタリウムをお楽しみください。

12月2日(金) 10時～10時30分

定員：250人 参加費：入館料のみ

申込方法：開催日の1ヵ月前から電話または

ホームページから先着順に受付

※定員になり次第締め切り



休館日のお知らせ	10	11	12
	日 月 火 水 木 金 土	日 月 火 水 木 金 土	日 月 火 水 木 金 土
赤文字：開館	2 3 4 5 6 7 8	1 2 3 4 5	1 2 3
青文字：休館	9 10 11 12 13 14 15	6 7 8 9 10 11 12	4 5 6 7 8 9 10
	16 17 18 19 20 21 22	13 14 15 16 17 18 19	11 12 13 14 15 16 17
	23 24 25 26 27 28 29	20 21 22 23 24 25 26	18 19 20 21 22 23 24
	30	27 28 29 30	25 26 27 28 29 30 31

## 天体観望会の申し込みについて

- ◆参加料 1人300円 ◆電話番号 (078) 919-5000
- ◆申込方法 開催日の1ヶ月前から前日17時までに電話又はHPからお申し込み下さい。 ◆定員 100名

代表者の氏名・参加人数・電話番号・駐車場の利用の有無をお知らせ下さい。駐車場ご利用の場合は別途200円必要です。

10月	11月	12月
10月1日(土)～10月30日(日) 「キトラ古墳に描かれた星空」	11月1日(火)～11月30日(水) 「暗黒物質の謎をさぐる」	12月1日(木)～12月25日(日) 「オリオン座のひみつ」
～10月30日(日) 「おつきみアワー」	11月12日(土)～11月27日(日) 「おたんじょうびのせいざ」	12月3日(土)～12月25日(日) 「クリスマスアワー」
～10月16日(日) 「夏休み児童生徒作品展」	10月22日(土)～11月27日(日) 「星空ウォーク～遠くをのぞくと音がわかる!～」	12月3日(土)～1月9日(月・祝) 「2017年全国カレンダー展」
10月15日(土) 9:50～10:40 「秋の星座と天体観測」 【事前申込なし】	11月19日(土) 9:50～10:40 【事前申込なし】「天文学の最前線」	12月17日(土) 9:50～10:40 【事前申込なし】「冬の星座と天体観測」
10月22日(土) 14:30～15:20 【当日整理券制】	11月26日(土) 14:30～15:20 【当日整理券制】	12月24日(土) 14:30～15:20 【当日整理券制】
10月10日(月・祝) 12:45～14:00 「特別天文講座 アルマ望遠鏡のお話」 国立天文台 平松正顕【当日整理券制】	11月3日(木・祝) 5日(土)・6日(日) 「シゴセンジャー秋場所」 【当日整理券制】	11月19日(土)・20日(日) 「関西文化の日」(無料開放)【当日整理券制】
10月12日(水)【事前申込制】 「夕焼けバンド見てみ隊」	11月23日(水・祝) 全国一斉「熟睡プラ寝たリウム」【当日整理券制】	
10月8日(土)【予約制】 18:30～(受付18:00～) 「海王星、月」	11月5日(土)【予約制】 18:30～(受付18:00～) 「アンドロメダ銀河、二重星団 (ペルセウス座の散開星団)」	12月3日(土)【予約制】 18:30～(受付18:00～) 「天王星、プレアデス星団(すばる)」
12月4日(日) 18:30～(受付18:00～) 「特別天体観望会」【予約制】 天王星、M15(ペガスス座にある球状星団)、アンドロメダ銀河、二重星団(ペルセウス座の散開星団)など	～特別天体観望会への参加方法～ 11月13日(日)までに往復はがきにより、お申込みください。1枚のはがきにつき1回の特別天体観望会、最大4名まで申し込みすることができます。応募多数時抽選。定員20名・参加費500円	12月17日(土) 19:00開演【前売券制】 「クリスマスJAZZコンサート」

略号 プラネタリウム一般投影 キッズプラネタリウム 特別展 こども天文教室 星と音楽のプラネタリウム 季節イベント 観望会 プラネタリウムコンサート

## プラネタリウムコンサート

### ★クリスマスJAZZコンサート

プラネタリウムの星空の下、クリスマスのおはなしと素敵な音楽をお届けします。コンサート終了後には天体観望会を開催します。(観望会は天候により中止となる場合があります。)

<日 時> 12月17日(土)  
【開場】18時30分 【開演】19時

<出演者>  
辛島すみ子 with Friends

<場所>  
明石市立天文科学館  
2階プラネタリウムドーム

<チケット販売場所>

※前売券制(800円)、駐車料金別途200円  
※チケット発売日については、お問い合わせ下さい。  
明石市立天文科学館・セブンイレブン明石市役所店・巖松書店(大久保駅前商店街)・明石観光案内所(明石駅構内)



## その他のイベント

### ★軌道星隊シゴセンジャー秋場所

11月3日(木・祝)・5日(土)・6日(日)

●11時10分～12時【当日整理券制】  
キッズプラネタリウムにシゴセンジャーとブラック星博士が登場!

### ★全国一斉「熟睡プラ寝たリウム」

勤労感謝の日に、日頃お疲れぎみのみなさんを、熟練解説員が手練手管を駆使して快眠へと誘う「熟睡プラ寝たリウム」の特別投影を行います。

眠った方には「熟睡証明書」を、最後まで一度もウトウトしなかった方には、「完徹証明書」をプレゼントします。

11月23日(水・祝)

[当日整理券制]

18時まで開館(最終入館は17時10分まで)

※この日は、すべての投影が「熟睡プラ寝たリウム」になります。

投影時刻  
①9時50分～ ④14時30分～  
②11時10分～ ⑤15時50分～  
③13時10分～ ⑥17時10分～



# Information ご利用案内

★プラネタリウム投影開始時刻 (1回の投影時間は、約50分間です。)

	第1回目	第2回目	第3回目	第4回目	第5回目
平日	9:50 (団体予約がある時のみ)	11:10	13:10	14:30	15:50
土・日・祝日 及び夏休み期間	9:50	11:10 (キッズプラネタリウム)	13:10	14:30	15:50

※学校長期休暇中の平日は、第1回目9:50も投影します。

## ★休館日

毎週月曜日・第2火曜日・年末年始

ただし、月曜日・第2火曜日が国民の休日・祝日となる日は開館し、翌日が休館となります。

※年末年始の開館日については、館ホームページまたは電話でお問い合わせください。

※2017年1月10日(火)~1月30日(月)及び2月13日(月)~2月28日(火)は館内設備工事のため休館します。

## ★開館時間

午前9時30分より午後5時まで(入館は午後4時30分まで)

## ★観覧料

	大人(高校生以下無料)
一般	700円
団体(30人以上100人未満)	630円
団体(100人以上)	560円
年間パスポート	2,000円

※年間パスポートは購入時から1年間、何度でもご利用いただけます。

※高齢者割引、障害者割引を行っています。

※10月1日より明石市が発行する「シニアいきいきパスポート」提示で観覧料350円(65歳以上)が無料になります。

※コンサートやイベント等には別途料金が必要な場合があります。

## ★駐車場

普通乗用車・マイクロバス(約90台):2時間まで200円(以降1時間ごとに100円) / 大型バス(8台):1回1,500円

## ★施設概要

日本標準時の基準となる東経135度子午線の通過地に建てられた「時と宇宙の博物館」です。プラネタリウムは現役では日本最古、稼働期間が20,000日を超え日本一です。



- JR 明石駅下車 東へ1km(徒歩約15分)
- 山陽電車人丸前駅下車 北へ約0.2km(徒歩約3分)
- 車では国道2号線人丸前交差点から北へ約0.2km
- 第二神明道路 大蔵谷I.C. から南西へ約3km
- 明石海峡大橋からは垂水出口を左折し、約6kmで国道2号線へ。国道2号線を西へ約4km(約20分)

## 明石市立天文科学館

http://www.am12.jp/  
携帯サイト http://www.am12.jp/i/  
ツイッター @jstm135e

〒673-0877 兵庫県明石市人丸町2-6  
TEL.078-919-5000/FAX.078-919-6000  
e-mail: info@am12.jp



SPACE LINK

時間、それは宇宙からの贈りもの

上空2万kmの彼方のGPS衛星で刻まれる10万年に1秒の高精度。  
宇宙とつながり、時を知る。衛星電波クロック「セイコー スペースリンク」シリーズ。

# SEIKO

お問い合わせ先: セイコークロック株式会社 お客様相談室 0120-315-474 (9:30~17:30 土・日・祝祭日を除く) <http://www.seiko-clock.co.jp/>

